

Photo/ 港町宇出津灯リフェスティバル (9月22日)



広報のと

第105号

平成25年11月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字一ノノ番地1

電話：0768-62-10000
URL：http://www.town.noto.lg.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp



NOTO FIELD NOTE

For all the local people

illustrated by a.yamazaki

協力：小箱政治さん

Page 11

DATE: 2012.11.23
RESUME: お茶炭

炭焼きはひと窓ひと窓同じものは焼けない。架し方でもあり若しみもある。炭化 - 外から加熱 + 酸素 → 炭が残る。燃焼 - 酸素 + 自ら発熱 → 灰。天井は何十日も焼いた土(貴重品)。尾根 風雨を防ぐ。コガマ。タキグチ。珪藻土の戸板 外は軽い保温 炭出しの時にはコガマを開ける。右側に 生木を置く。左側に 炭木を出す。このタイミングが重要。お茶炭のタキグチを開ける(炭化)本つけ(3日)乾燥(4日)7日 密閉消火(1日)自然に冷めるのを待つ。木を黒に焼く(2日)下図参照。炭出し。開け閉めは煙色をみたり。裏千家 炭手前。茶会では美しい「菊炭」が喜ばれる。茶の湯炭の焼き具合によって各手前のタイミングを測るそう。炭焼きも茶道も一期一会。

元口(根元側) 今ほ電口でカット 1寸 = 3cm 1尺 = 30cm
炭づくり(切りそろえ)

お茶炭 茶道の湯わかし用熱源 主にクヌギが好適

桐炭 丸割炭 丸管炭 割管炭 点炭 板炭(胡粉で白)

丸割炭 丸管炭 割管炭 点炭 板炭(胡粉で白)

炭出し (炉用)

断面の放射状の影が目撃者が木の死を思わせる。樹皮も残る。

横断面 セ天井 コガマ タキグチ 炭化 立て木 灰になりやすい。ふ炭は臭い。排水口。

「お茶炭」

仕事はなんでもそうですが、探求すると非常に深いものがある。中途半端ではだめです。評判上げるのは難しいが信用落とすのはたった一本の炭でパーですわ。とはいっても遊び心も大事。仲間には“楽しみをもってやらんかい”と言っとります。(当日の炭焼き名人の言葉)

【絵・文】 山崎昭宏 <http://blog.livedoor.jp/yurariburari/>
※無断転載を禁じます。

